

# 東北医科薬科大学 若林病院 連携だより

## 平成30年 年頭ご挨拶

「誕生3年目の若林病院の将来」

新年おめでとうございます。

NTT 東日本東北病院から若林病院が誕生し、4月で3年目に入ります。職員も市民の意識もすっかり東北医科薬科大学若林病院に切り替わり、以前からの「心のもった温かく良質な医療の提供」という理念のもとに、地域の先生方と連携しながら医療や医療人教育に尽力しております。

一方、この間に本院の東北医科薬科大学病院は、大学病院としての機能充実のために新診療科の増設とスタッフの増員、新病棟（150床）の建設など、着々と発展しております。これに伴い、本院と当院の連携強化や機能分担構想が進行中です。今後重要となる当院の機能は、病棟の再編、ニーズに合わせた外来診療の充実、重点的な外科系診療、透析・回復期リハビリ・健診センターの充実など、当院の特徴を生かした医療への貢献です。本年はこれらの計画が徐々に進みますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



院長  
佐藤 譲

先生方におかれましては、日頃より地域連携室を経由した予約依頼などで病診連携にご協力いただきありがとうございます。連携室一同迅速な対応を心がけております。外科におきましても、ある程度緊急性の高い患者様（虫垂炎・胆石などの急性腹症）の場合は直接お電話での対応もさせていただきます。数日後の受診をお考えの患者さんの場合（乳腺外来・鼠径ヘルニアなど）はなるべく予約を取っていただくと患者さんの待ち時間解消に役立ちます。胃癌・大腸癌などの集学的治療も行っておりますので外科へのご相談をお待ちしております。どうしてもお時間のないときには診療情報提供書をお渡しの時に一言「病院に電話をしてから受診するよう」言っていただければ、全くの不意の当日受診に比べればなるべくお待たせしないよう考慮できます。お互い患者さんファーストでこれからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長  
寺澤 孝幸  
(外科部長、地域医療連携・相談室長)

昨年は地域の先生方におかれましては、東北医科薬科大学若林病院の地域連携に多大なるご協力をいただき、多くの患者さんをご紹介いただきましたことを感謝いたします。

当院は、東北医科薬科大学病院の後方病院としての患者受け入れ機能が期待されておりますが、「若林病院」という名称が示すとおり、地域の基幹病院としての役割が最重要と考えております。今後も医療費抑制の圧が強まる中、高齢化、老々介護、独居老人の増大などで、患者さんを取り巻く医療環境が、より一層厳しい情勢になっていくことが予想されます。この状況のなかで、地域の患者さんへの安全安心な医療提供には、有効な地域連携の構築なくしては成立しません。

今年も当院の果たすべき役割の達成を目標に、我々スタッフ一同精一杯努力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。



副院長  
高橋 識至  
(内科部長)

### 病院理念

人権と生命の尊厳を守り、心のもった温かい良質な医療の提供に努めます。

### ～目次～

- 平成30年 年頭ご挨拶 .....P.1
- 診療科紹介 -産婦人科- .....P.2
- 世界糖尿病デーイベントが開催されました・東北医科薬科大学 若林病院 連携の会 …P.3
- 認知症ケアチーム紹介・市民公開講座・Topics ……P.4

# 診療科紹介 —産婦人科—

産婦人科部長 渡辺 正

産婦人科は常勤医師3人に加えて、毎週木曜日に東北大学から女性応援医師が外来診療を行う体制となっております。婦人科では、子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症、卵巣腫瘍、子宮内膜ポリープなどの婦人科良性疾患、不妊症（non-ART）、および異所性妊娠を中心に診療を行っております。外来には検査用の子宮鏡が2台あり、子宮内腔病変の診断に威力を発揮しております。産科では、妊娠初期診断、セミオープンシステムによる妊婦健診を積極的に行っております。

少産少子化の昨今、患者さんのニーズも多様化しております。ご紹介いただいた患者さんには、選択可能な治療法について丁寧に話をしながら診療を進めることが大切と考えております。

手術療法を選択する場合は、内視鏡で手術を完遂できれば十分ということではなく、子宮・卵巣の機能温存手術を念頭におき手術後の妊娠成立も考慮した、質を担保した注意深い手術を行うよう努力してまいります。

おかげさまで紹介患者数、手術件数ともに年々増加傾向にあります。いつも大切な患者さんをご紹介いただきありがとうございます。

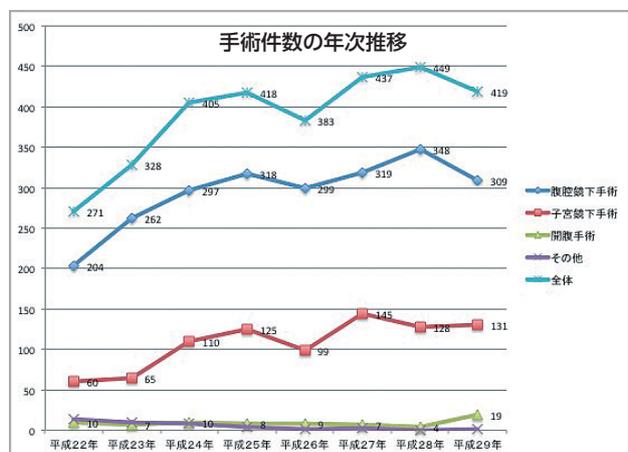
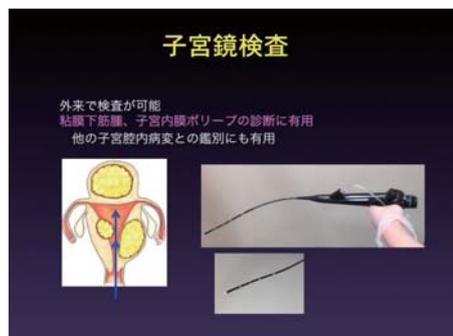


写真 下段左から 虎谷医師、渡辺医師、黒澤医師



## 【診療体制】

患者様をご紹介いただく際には、地域医療連携室を通した予約をお願いしております。各医療機関より、紹介票を地域医療連携室までFAXいただき、受診日時の調整を行っております。地域医療連携室では、患者様個人からの予約受付は承っておりませんので、ご注意ください。大変お手数をおかけ致しますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。なお、緊急を要する場合は、産婦人科外来へご相談ください。

		月	火	水	木	金
産婦人科 (手術：月・火・木) 月・火・木：受付 10:30 まで	新患（午前）	新患担当医	新患担当医	新患担当医	新患担当医	新患担当医
	再来	渡辺 正 黒澤大樹 虎谷惇平				

## 世界糖尿病デーイベントが開催されました



糖尿病チーム



11月16日(木)、当院で世界糖尿病デーイベントが開催されました。世界糖尿病デーは正式には11月14日で、1921年にインスリンを発見してノーベル賞を受賞したバンティング博士の誕生日に由来しています。当院のように色々なイベントが開催されたり、世界的な建設物やモニュメントがシンボルカラーであるブルーでライトアップされるなど、世界中で糖尿病抑制を啓発するキャンペーンが展開されています。

今年も当院の世界糖尿病デーイベントには糖尿病の方やその関係者、糖尿病でない方、近隣住民の方々など様々な来場者が多数訪れました。当日は糖尿病チームに所属している医師、歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士に療養上の相談ができる『相談ブース』、数量限定でエネルギーコントロール食を販売する『販売ブース』、血糖値や身長、体重、血圧などを測定できる『計測ブース』に分かれ、大好評にてイベントを終えることができました。

(文責 理学療法士 小野 央人)

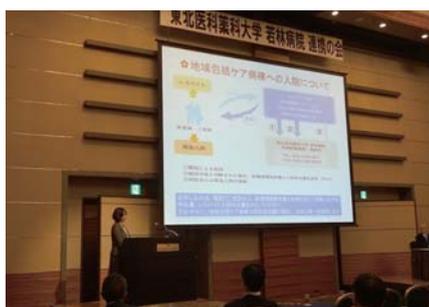
## 東北医科薬科大学 若林病院 連携の会



『呼吸リハビリテーションと地域医療』



『産婦人科診療における当院の役割とは』



『地域包括ケア病棟入院のご案内』

平成29年11月21日(火) ホテルメトロポリタン仙台において、平成29年度東北医科薬科大学若林病院連携の会が開催されました。今年度より11月の開催となりましたが、当日はお忙しい中、若林区内外の先生方および医療・福祉関係機関より99名、院内より47名の合計146名(昨年度80名)の方々にご参加いただきました。

### 第一部 講演会

#### 1. 『呼吸リハビリテーションと地域医療』

副院長・内科部長 高橋 識至

#### 2. 『産婦人科診療における当院の役割とは』

産婦人科部長 渡辺 正

#### 3. 『地域包括ケア病棟入院のご案内』

地域医療連携・相談室看護長 小畑 ひろみ

### 第二部 情報交換会

#### 1. 挨拶

院長 佐藤 譲

#### 2. 挨拶

東北医科薬科大学理事長・学長 高柳 元明

#### 3. 挨拶

東北医科薬科大学病院統括病院長 近藤 丘

#### 4. 挨拶

長島内科医院院長 長島 道夫 先生

#### 5. 乾杯

みやぎ健診プラザ所長 佐々木 巖 先生

#### 6. 診療科紹介

副院長 寺澤 孝幸・各診療科 医師

#### 7. お開き

氏家クリニック院長 氏家 裕明 先生

第二部情報交換会では、他職種の方々と情報交換を行うことができ、当院に対するたくさんのご意見・激励のお言葉を頂戴しました。年々参加人数も増え、有意義な時間を過ごせましたことを嬉しく思います。頂いたご意見をもとに、より一層「顔の見える連携」を大切に、より良い医療の提供に努めて参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

## 認知症ケアチーム紹介



認知症サポートチーム

平成 28 年度の診療報酬改訂において、「認知症ケア加算 1、2」が新設されました。この診療報酬上の評価は、病院における認知症ケアの質の向上を目的としています。これまでの精神科病院などでの専門的な認知症ケアだけではなく、一般病院においても認知症を抱える高齢患者が急速に増加しており、より認知症に焦点を当てたケアが求められているといえます。当院では「認知症ケア加算 2（以下、加算 2）」の算定を目指し、平成 28 年 11 月より認知症サポートチーム（DST）を立ち上げ、平成 29 年 3 月より加算 2

の算定を開始する運びとなりました。現在は各病棟で DST メンバーを中心に、認知症ケアの質向上に取り組んでいます。

一方で国家戦略としての「新オレンジプラン」などで謳われているように、これから目指す社会像として、認知症ケアのためには病院、施設、在宅、地域が協働することが必要であるといわれています。その上で、ケアの必要な患者・家族に対して切れ目のない支援を行うことが求められています。在宅や地域社会での慣れ親しんだ生活を継続させるために、当院の DST 活動を地域に拡大し、発展させていくことを目指しております。  
(文責 看護主任 千葉 隆史)

## 市民公開講座

### 第 7 回 『乳がんってどんな病気ですか』 ～①発見から診断まで～

副院長・外科部長 寺澤 孝幸 医師  
(平成 29 年 9 月 19 日開催)



## Topics



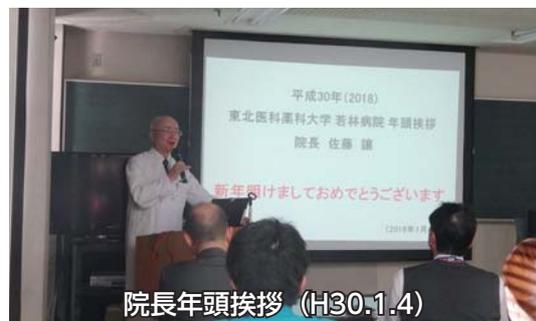
バンド「スパイラル」による  
オータムコンサート (H29.11.22)



呼吸ケア地域連携の会 (H29.12.1)



院長サンタ (H29.12.20)



院長年頭挨拶 (H30.1.4)

東北医科薬科大学 若林病院  
地域医療連携・相談室

〒984-8560 仙台市若林区大和町2-29-1  
TEL 022-236-5899 FAX 022-236-5920